

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 国際推進室	所属長名	伊藤 一男	電 話	483-1151 内線2337
-----	-------	-----	-------------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		4077		事務事業名称		国際推進事業					短縮コード		経常	4077	臨時	4098			
予算区分		会計	01	一般会計		款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	07	企画費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				根拠法令等		八千代市国際交流協会補助金交付要綱											
		☐ その他																	
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																			
15年ほど前に、国や県において国際理解を推進していこうという流れがあり、市制25周年を記念し、アメリカ合衆国テキサス州タイラー市と姉妹都市を提携し、親善訪問団のやりとりを行ってきた。平成18年1月に市内の国際関係4団体が集まり、八千代市国際交流協会が設立された。協会はタイラー市との交流を行う国際姉妹都市部会、災害時等の通訳などを行う語学ボランティア部会、在住外国人への日本語指導を行う日本語指導ボランティア部会、国際交流に興味のある人が集まった国際交流促進部会の4つに分かれて独自に活動している。 市の国際化、国際交流を推進のため、国際交流関係書簡の翻訳・八千代市国際交流協会への助成・親と子どものための学校ガイダンスの開催・バンコクからの視察団受入・サバイバル日本語講座の開催をしている。																			
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）		06	計画推進のために									
国際化への関心、対応への需用は年々高くなっている。 八千代市内の在住外国人の数も増加している。 各交流事業後に、個人的に交流をする人が多くなっている。 市内に在住する外国人が増え、その対応が求められる。 八千代こども国際平和文化基金事業が20年目を迎えることを機に、平成20年度にタイ王国バンコク都と友好都市提携を結ぶことで合意した。							大項目（節）		01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進									
							中 項 目		02	地域の視点に立った主体的なまちづくりの推進									
							小項目（施策）		02	平和と交流によるまちづくりの推進									
							細 項 目		02	市独自の国内外との交流によるまちづくりの推進									
						実施計画の計画事業		0203	国際化推進基本方針・基本計画策定事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成17年4月 ～ 平成20年3月			計画事業費		千円							

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	在住外国人、市民（住民基本台帳・外録含む）											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 日本語指導ボランティアが実施したサバイバル日本語講座の共催、タイラー市からの親善訪問団受入、八千代市国際交流協会への支援。											
	※平成20年度に計画していること： 多文化共生プラン基本方針策定、八千代市国際交流協会への支援、バンコク都との友好都市提携、八千代市・バンコク都友好都市提携調印式、八千代・バンコク交流20年記念展示会、八千代市・バンコク都友好都市提携記念祝賀会、交流20年記念少年サッカー大会、親と子どものための学校ガイダンス、JICAへの協力											
意図 （何を狙っているのか）	外国人との交流により、文化に対する理解を深め、友好的な考え方を育て、なおかつ多くの人に広めていく。											
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外											
区 分					単位	18年度		19年度		20年度		
						実績		計画		実績		
対象指標	指標1	在住外国人登録者数			人	3,663		3,850		3,815		3,950
	指標2	市民（住民基本台帳・外録含む）			人	186,650		188,000		188,624		191,000
	指標3											
活動指標	指標1	生活ガイドブックの配布数			部	350		350		350		350
	指標2	日本語ボランティア教室の開催回数			回	306		306		307		357
	指標3	タイラー市からの親善訪問団受入実行委員会の開催回数			回	16		20		13		10
成果指標	指標1	在住外国人のガイドブックを利用した割合			%	9.56		10		9.17		10
	指標2	日本語ボランティア教室を受講した人数			人	73		100		102		110
	指標3	姉妹都市交流事業に参加した人数			人	45		200		664		30
上位成果指標	指標1											
	指標2											
	指標3											

コード	4077	事務事業名称	国際推進事業				所属名	総合企画課 国際推進室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			在住外国人の増加に伴い、現状のままでは来庁者への対応がしきれないと庁内窓口担当者から声が上がっている。外国人対応関連部署同士の連携をとり、情報の共有化と協力体制の確立を目指す。また「互いの文化を認め合い、誰もが住みやすいまちづくり」をテーマとした多文化共生プランを策定するための基本方針を策定する。協会については、設立して3年が経過し、自らの手で事業を企画、運営していけるよう、市としてサポートしていく。協会と市の役割分担をはっきりさせて協働していく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			バンコク都との友好都市提携に伴い、記念行事等の経費がかかる。 在住外国人に対応するための資料作成などには経費が必要となる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
国際交流事業を行う担当窓口の一本化して交流活動を行いやすくするよう、数年前から市内の国際交流団体から意見が寄せられている。 バンコク都との幅広い交流を希望する声が上がってきている。									

所属長コメント	タイラー市との国際交流並びに市内に在住する外国人への支援・対応について、八千代市国際交流協会の協力を得て、順調に事業を進めることができた。今後も、バンコクを加えた国際交流及び多文化共生プラン基本方針策定などの国際推進事業について、国際交流協会と協力・連携を図りながら実施する。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			可能なことから順次推進していくべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									